

請求書書式の利用方法

1.様式について

この請求書は契約書(注文書発行済)の請求をするときに使用して下さい。
(但し、労務費等の場合は、請求計算の根拠となる明細書を添付して下さい)

2.記入方法について

作成の際は、弊社ホームページより最新版をダウンロードして作成して下さい。

別記「記入例」を参考にして作成して下さい。

黄色のセルのみ入力して下さい。

当初請負代金額は注文書の注文金額をご記入下さい。

増減の取り交わしをした場合は、変更増減欄にご記入下さい。

2回目以降の請求の場合は、前回迄の請求額を①前月迄の請求金額欄に記入して下さい。

請求書

竹石建設株式会社 御中

下記の通り、ご請求申し上げます。

工事番号		注文番号	
工事名			
工事場所			

(A) 当初請負代金額(税抜)	(B) 変更増減分金額(税抜)	(C) 変更後請負代金額(税抜)
① 前月迄の請求金額(税抜)	③ 累計請求金額(①+②)	請求残高(A又はC)-③
② 当月の請求金額(税抜)	④ 当月の消費税等金額	⑤ 当月請求金額(税込)(②+④)
	10%	

登録番号: T

年 月 末日締切分

年 月 日 提出

社名

住所

TEL

指定振込口座			
金融機関名	銀行		
	支店		
口座名義			
口座番号	普通	当座	No.

月/日	工事名	数量	単位	単価	金額(税抜)	税率(※)

当月請求金額内訳		
小計	8%	
	10%	
消費税	8%	
	10%	
合計		

※は軽減税率対象

記入例

※注文書発行済の工事請求書はこちらをご使用下さい。

請求書

竹石建設株式会社 御中

請求年月日を記入して下さい

提出年月日を記入して下さい

年 月 日 締切分
年 月 日 提出

注文書の工事番号を記入して下さい

注文書にある右上の番号を記入して下さい

工事番号	注文番号
工事名	
工事場所	

注文書の金額を記入して下さい。
※変更の契約書がある場合は
変更増減額も記入して下さい

請求者の住所及び氏名を記入して下さい
(社判でも構いません)

登録番号: T

社名

住所

TEL

振込先金融機関をご記入して下さい

(A) 当初請負代金額(税抜)	(B) 変更増減分金額(税抜)	(C) 変更後請負代金額(税抜)
①前月迄の請求金額	④当月の消費税等金額	⑤当月請求金額(税込)(②+④)
②当月の請求金額(税抜)	10%	

前回までの請求金額を記入下さい
初回の請求時は0を入力して下さい

請求残高

当月の請求金額を入力して下さい

指定振込口座	
金融機関名	銀行 支店
口座名義	
口座番号	普通 当座 No.

月/日	工事名	数量	単位	単価	金額(税抜)	税率(※)

当月請求金額内訳		
小計	8%	
	10%	
消費税	8%	
	10%	
合計		

※は軽減税率対象